



clone人間 Presents 真珠姫 前編 ~万由子のケース~





お……お義母さんっ!!

お……お義母さんっ!!

だ……だ……だ……

偶然のアクシデント

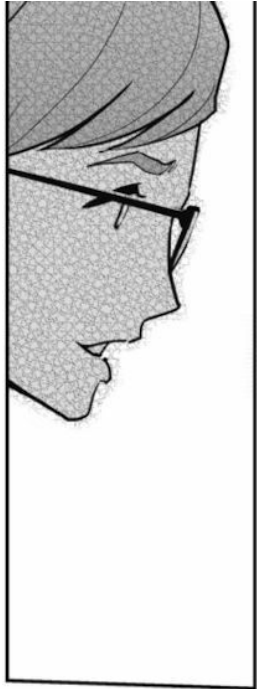
Presented by  
**clone人間**

# 真珠姫

前編

～万由子のケース～





悦史さん  
お背中…

せっかくだから  
お背中くらい  
流しますわ



僕 出ます…  
失礼しました



ポニー

す……

すみません  
お義母さんに  
こんな……

遅くまで  
お仕事ご苦労様  
悦史さん

あ……いえ……

やばい……俺なに反応してるんだ……お義母さんだぞ

モウモウ……

ドクドク





あきは何も言ってなかったか？

私週末遊びに行くって言っておいたんですけど…ごめんなさいね

そうでしたか…

お正月以来か…お義母さんに会うの



色っぽい人だこんな人が奥さんだったら！

それにしても透き通るような肌

やばい何考えてるんだ俺は

ビクッ

早く上がるう



そんな照れないで

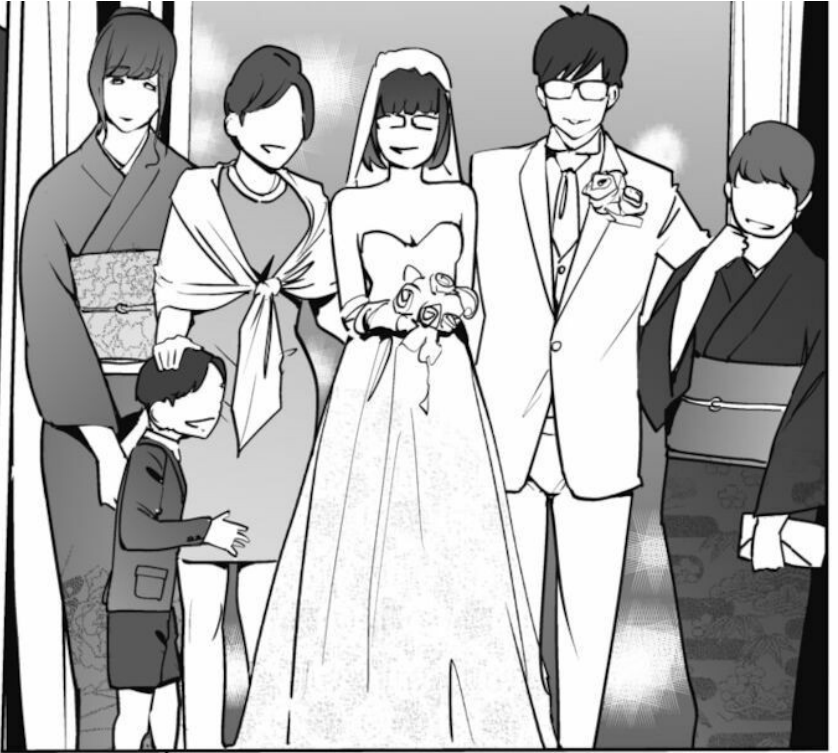
家族じゃないの

は…は…



家族に...

なっただもんな



何を照れているんだ  
バカだな俺



お義母さんの  
生まれ育った街  
いいところですね

：田舎で何も無くて  
びっくりしたでしょ

いいえ  
とっても楽し  
かったです



夏のみんなでした  
花火楽しかった  
ですね

従兄弟の純じゅんやくん  
とっても嬉しそう  
でした

バチ  
バチ  
バチ



とっても素敵……♡



はい……？



そうね……  
楽しかったわ  
あたしも



あきは背中  
なんて流して  
くれないでしょう  
ゲームばかり  
ヲタクって  
いうの？

気が利かない  
娘だから…

お義母さんに  
こなして  
もらえるなら

もっと早く帰って  
くればよかった  
…なんて

いえいえ…  
でも…



…冗談でも  
嬉しいわ

がば

へ…っ!!

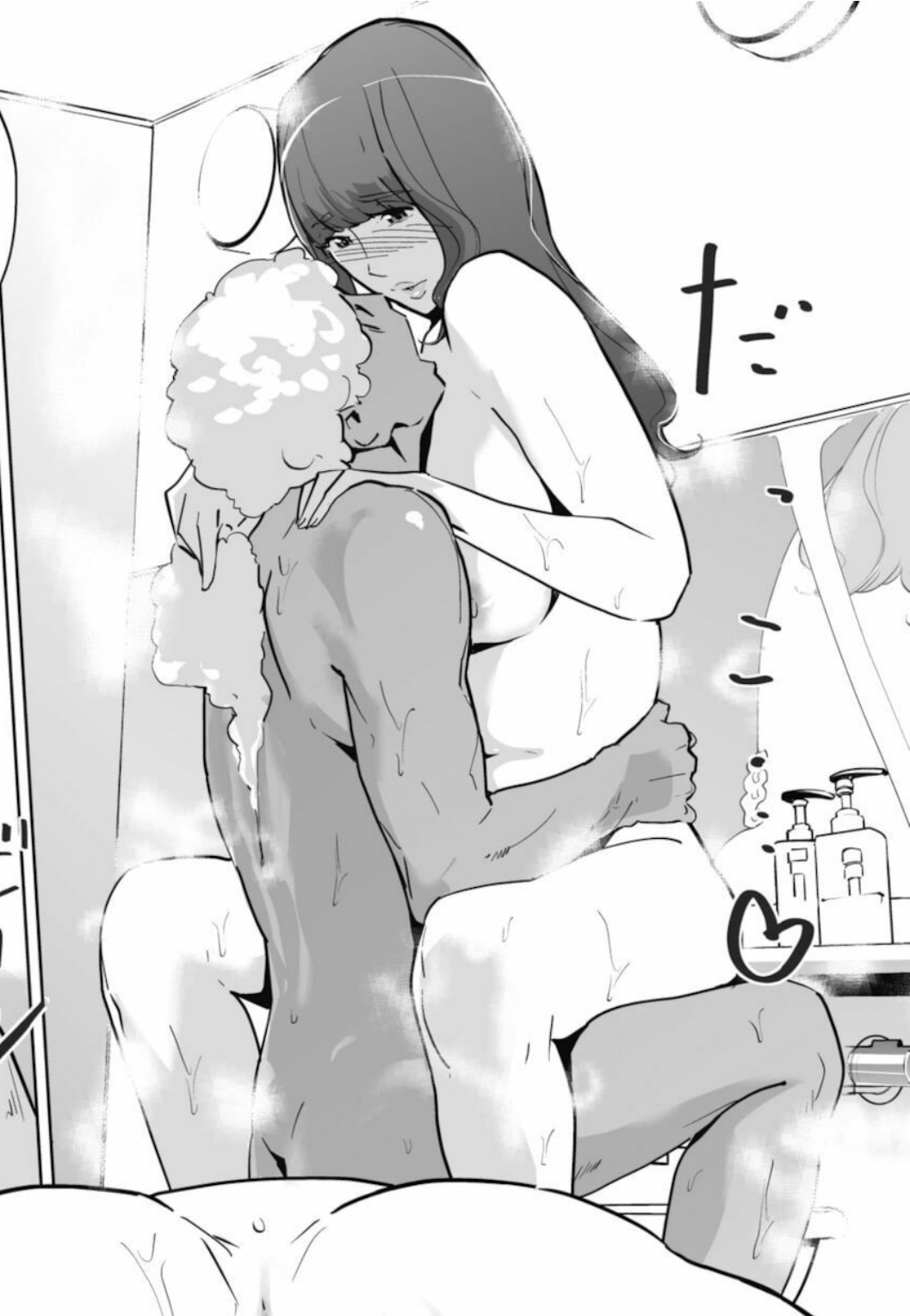


この方がいっぱい  
洗えるから♡

ちよっ…これやばい  
当たってる…俺の亀頭に  
お義母さんのが

お…  
お義母さんが  
こんな

ふふ若い人って  
素敵ね…♡



だ

当ててるのか…っ!?  
お義母さんが  
俺のものに!

ぬちゃり♡

ん…♡

お…義母さん  
そんな腰を  
…ううう





あん…♡

ヤバい俺…思わず  
手がのびちまった  
お義母さんのおっぱいを

悦史さんったら  
子供みたいに  
…もう特別ですよ♡

むにゅ♡

むぎゃ

うおおお♡♡  
なんて柔らかいんだ  
止まらない…っ



やだ……

あたしと一緒に  
嬉しい



悦史さん  
体すっごく  
熱い…♡

興奮して  
いるの  
あたしに…

す…すみません  
は…はい  
すみませんっ

むにゅだ…っ俺何言ってる…!



うそだろ  
うそだろ!?  
今嬉しいって言った!?

…はへえ!?  
お義母さんが!?

むにゅ



お…お義母さん!?

うう…お義母さん  
いけませ…汚い…

…ううおお

ちゅ  
ぽ

嘘だろ…  
万由子さんが口で…を…

僕…また…  
そんな舌使われ  
たらまた…っ

男の体液を舌で  
すくい取って  
唇で包み込んでる

ん…んんん♥

根元まで唇で包み込んでる

ううお

ぽ

お♥

くぽ

ちゅぽ

ちゅぽ  
ぽ  
ぽ

あきに怒られ  
ちやうわね…

悦史さんの  
欲しいなんて  
言ったら…

お義母さん…

やばいやばいやば…

悦史さんの  
汚くなんか  
ないわ♥

男らしくって  
ん…素敵♥

そんなされたら  
ヤバイですから

…止まらなくなっ  
てしまいます…っ

ちろっ

ちろっ

うう…  
ううお…っ

ん♥

とまらなく…  
なるの？

ヤバイヤバイ  
ヤバイヤバイ  
言ってません  
言ってません  
言ってません…

見たいわ…

悦史さんが  
とまらなくなる  
と…♡

くば

嘘だろ…

慎まじやかで  
ひまわりのように  
いつも家族を  
照らしてくれていた  
お義母さんが

少女のように  
身体を震わせて…  
熟れ余った秘肉を  
卑猥なほど  
拡げて…俺を誘う…

マジか…

ズルッ…



は…  
い…!  
!?



あきには  
な……内緒よ……

小さな本当に  
か細い消え入る  
ような女の懇願に

抗うすべを俺は  
持ち合わせている  
はずもなく



するのか

お義母さん……

嫁の母親と  
肉体関係を……



……な……思考が  
理性に追いつく  
はずもなく



この女を……犯<sup>ヤ</sup>ることにした

ああ……あん♡  
ぞんぞん♡



悦史さんの  
すっごい熱い...♡

俺...ヤッちゃまっしてっ...

や...やべえ俺  
マジでお義母さんの  
中に...っ

お...お義母さん



悦史さん  
ああすっごい  
奥まで...♡

あぁいい♡  
当たるわ♡



...かわいい♡

凄く...浅いんだ  
少女の口みたいな穴



ううんなんて  
柔らかいおまんこ

これがお義母さんの  
完熟おまんこ...っ



やだ上手う♥

やばいこの女  
マジで欲しい

男に生まれてきた  
喜びを貴女に  
教わるなんて

あ…ッ  
ああ♥



河田さんは  
ぱつと見は  
スワカ〜だろうか

21の時にあきを  
産んだ淑隆の年輪は  
禁断の蜜のように  
朗らかで

奥を小突くと  
声音が華やき

ここが  
いいですか

アハハ

ああ♥  
きやう♥

あ…ッ  
気持ちいいわ♥

甘酸っぱい進りに  
下半身が更に  
熱く滾った

すっ

はあん…  
ああ♡

普段の凛とした  
佇まいからは想像  
できないほど  
可憐な声で哭いた

万由子さんは  
乳首を転がすと

あ…ッ  
ああ♡

お義母  
さん♡

ああ…ッ  
ああ…いい♡  
そこ…あやん…ッ  
あ…んっ♡

発情を告げる  
義母の雌哭なき

乳首が  
いいですか

すごい…白い糸  
ひいて俺のものに  
絡みつく

くは

ん…ふふ  
きかないの♡

本気じゃないか  
お義母さんの

やだわあたし  
ったら悦史さんを  
喜ばせたいのに…

あたり  
ぱっかり  
んん♡



あおおっんっ  
ほおんっ  
悦史さん…♡  
腰がこじぢゃんっ♡

ああ…ん  
ほおおおん♡

あ…あっ♡

義理の息子の上で  
あからさまな  
腰遣いで艶めき

うほ…♡

ん…ん…ん…♡

あひいい♡

根元まで頼張って  
尚貪る義母

俺でもわかる  
あられもない子宮痙攣

あぁいい♡

スケベ過ぎる  
お義母さんの  
穴♡

だらしなく口を  
広げた子宮口が  
亀頭に臆面もな  
すぎりなき

恋人のように  
可愛い仕草で

慎ましやかな  
女だと思っ  
たの？

脂の乗った太腿を  
大きく揺すり  
いじらしく男根を…

そんなはず  
ないでしょ♡

雌穴でしゃぶる

お義母さん  
僕も…っ  
万由子さんを…っ

あん…やだだめッ  
悦史さんったら…♡  
おま〇こ  
こわれちゃう♡

は…はおお  
…ううう♡



万由子のおま○こに  
好きなもの  
悦史さんのいいのよ♡

ふふふふ

おま○この  
おま○こに射して  
おま○このか

え…悦史さんたら  
目の色かえて  
すこい♡♡

あ…はああ  
…やばいわ♡

わーキレイの

ぽん

むぎゅ

だめだ…そんなこと  
絶対許されない…

あすっごい  
万由子のめくれ  
上がっちゃう♡

ふふふ

ぽん



お義母さん…っ

悦史さん  
する気ね…ッ

ああ許して…  
そんなされたら  
もう我慢できないわ…♡

ぽん

ぽん

…あたしに…家族に…  
ハレンチする気ね♡

中で…

まさか…  
万由子さんの中で…!

ああやだ中で  
暴れて…あんもう  
頂戴い……ツ♥

許して  
悦史のおち○ぽで  
イキたいいいツ♥

万由子……っ

いじらしかった腰遣いが

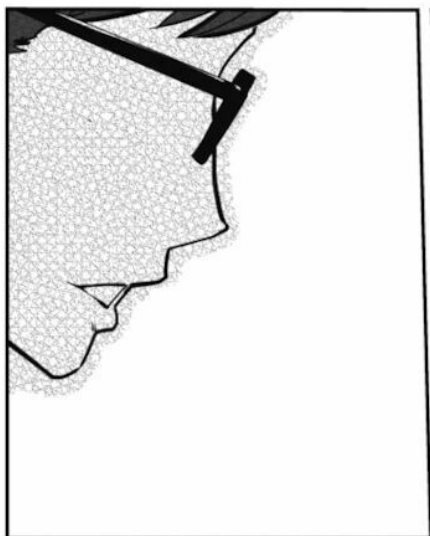
いくつうツ  
はおおん  
はおおん♥♥

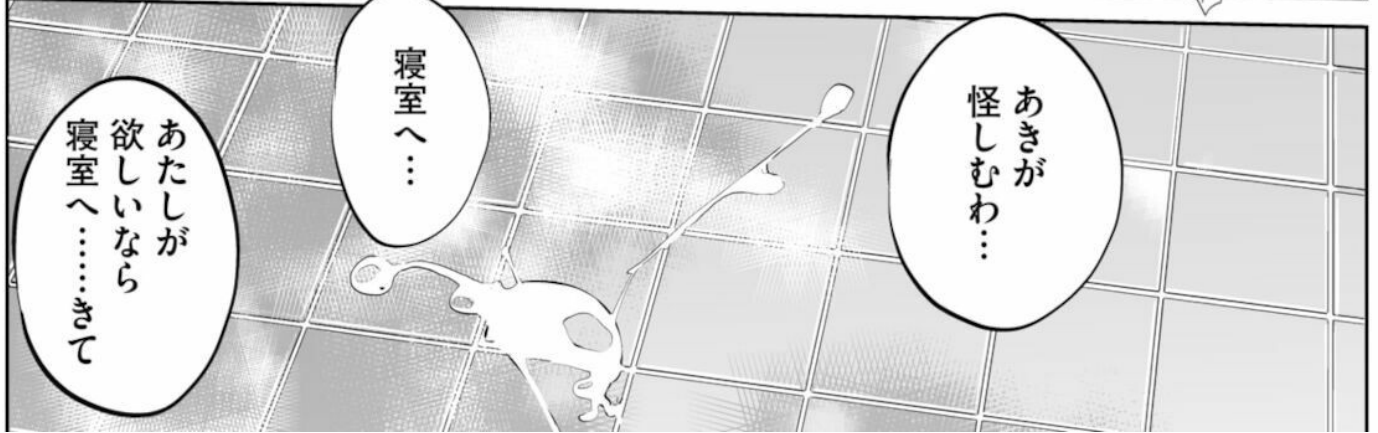
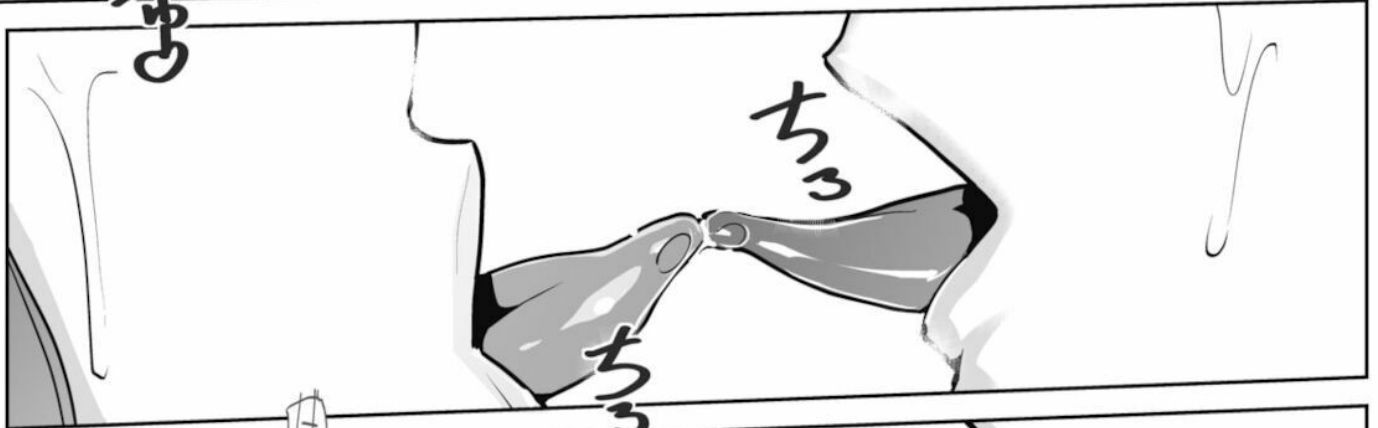
確信的に勇ましく華やき

お義母……っ

ん……ん♥♥♥







義母の寢室へ――。

優しい声の

優しい色の服の

優しい  
手の温もりの…

ゴト  
ゴト

優しさの存在は  
もはやどこにもいない

ガラ  
ガラ



あたしが  
欲しいなら  
…寝室へきて

寝室へ…

一線を越えてしまった二人の夜は長く。

# 真珠姫

後編  
～万由子のケース～

【前回までのお話】悦史が夜遅くに帰宅しても嫁のあきは気づかずゲームに夢中。悦史はそんな嫁の態度に虚しさを感じつつ浴室へ向かうと、ちょうど風呂上りで裸の義母・万由子と遭遇してしまう。万由子の来訪も知らず、気まずさのあまり平謝りの悦史を万由子はせっかくだから背中を流させてと優しく誘った。そして万由子は悦史の若い肉体に自分の熱れた身体を押し当てて……。

優しい声の

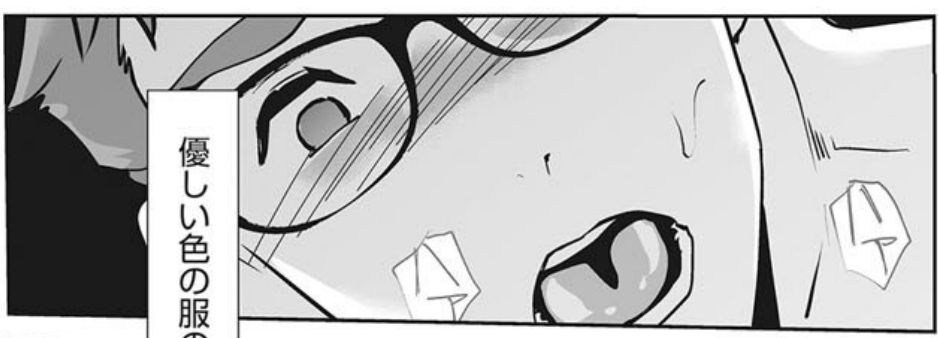
Check!!  
著者掲載  
バックナンバー  
& 単行本情報は  
こちらから♡



Presented by  
**clone人間**



優しい手の温もりの…優しさの存在は



優しい色の服の





悦史さん...♡

お義母さん...っ

お母さん...♡

あ...ああっ...ん...や♡

ちゅぽ

しゅ

しゅ

しゅ

しゅ



ああ...  
ああむっ♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



ん♡...っ♡

ああっ欲しい...  
ねえもう  
ちょうだい...っ

なにが  
欲しいんです？



はっああん  
悦史さん...です



ん...ん♡  
意地悪♡



ぼ...僕の舌が  
いいですか  
お尻がヒク  
ついてる...っ



そんなところ...  
んん恥ずかしいわ  
...ん...汚いから

お義母さんの口が  
卑猥に歪み

俺のものを欲しいと  
何度も何度も何度も…

悦史の  
おち○ぽおっ♡

ぽあ

ずっとおずうっと  
欲しかった  
おち○ぽお♡

万由子…っ  
まゆこ

おやあおん……♡

そんないきなり  
奥まで……んっ

はああ…♡  
すっごいああ♡





お義母さん...♡  
お義母さん♡  
お義母さん♡

お義母さん...♡

お義母さん...♡

ためらいの無い相愛



だから

後にも先にも  
女性にあきしか  
知らない

一ツ年上の妻のあきは  
高校時代 水泳部で出会った

あゝ

あゝ

あゝ

お義母さんには  
なにかえもいわれぬ  
気持ちにさせられ

うしもはつちね

今ですと  
変わらない

艶のある声が心地ゆく  
俺は好きだった

それは初めて  
お会いした  
時から

いや…白状するよ

俺は

女性として  
惹かれていた

お先です

どうも  
っす

カキ  
カキ

今夜も  
残業か…



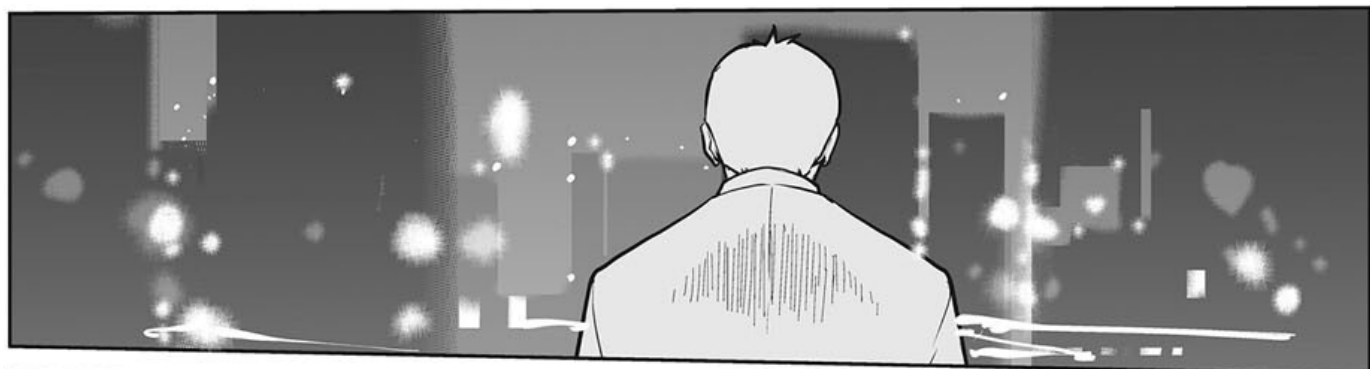
すみません



今日ゴミ出し 悦史の日 だったんだけど

何度言わせんの?

返信  
すみません



こんなはず じゃなかった



ハエタシ...

あーあ...

もうなにもかも どうでもい

疲れた



カキキリ...



俺は不覚にも…いや本当に

一瞬 天使に見えたんだ



優しい手の温もりが

優しい声がかろうじて  
万由子さんと判断させたが

万由子さん…っ

悦史さん  
…ああ♥

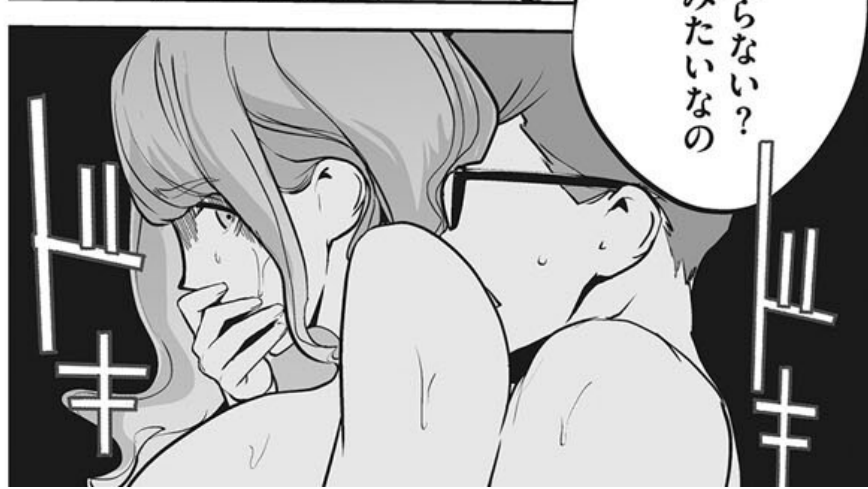
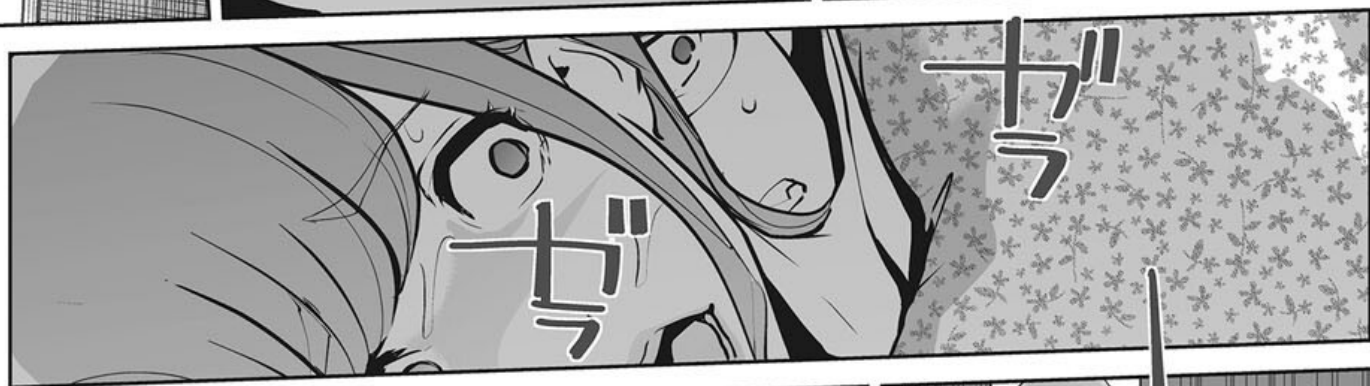
あ…ああむっ♥



それでも見た事もない色味

6帖部屋に響く  
甘えた声





悦史 知らない? いないみたいなの



知らないわ...  
ん...っん♥

は...し...



あ...そうだわ...  
さ...さつき出て  
行ったみたい...

コンビニに  
でも行ったん  
じゃないかしら...  
ん♥

え...また?  
そ...か



なんか目  
覚めちゃったな



あ...えっ  
だめだめ...っ  
悦史さん!!

ひい...♥  
だめ...だめえ  
みつかっちゃう

ガラ







!?

.....!



万由子さんの  
子宮口が  
上下左右に

娘の前で  
発情してるの  
バレバレです

ち...ちがうわ...っ  
...あああうそ...  
そんな突かないで

あ...あん...っ  
あん♥  
声が...っ

義息子の  
ち○ぼ衛くわえて  
おま○こ  
トロつかせて

ひい...♥

言い訳なんて  
できませんよ♥

ふんふん

ぞくぞく

ぞくぞく

ぼん

はん





はぁ……ん♡

ん……  
……ん……ん

ん……ん♡

はぁを……ん……ん♡

ひ……



神様……!

ひ……か……



ん……ん

ん……ん



今のは危なかった  
ですね

妻にみつかるところでしたよ♡

んひい♡  
万由子を  
もう虐めちゃ  
いや……っ



中が妬けるように  
熱いですよ  
万由子さん

あああむっ♡

はああ…ああ  
やばいい♡♡  
ああもっ  
やばいのお♡

母親がおま○こ  
糸引いてるの  
丸見えです

だ…だめえ♡♡  
言わないでえ♡



…万由子!  
欲しくないのか  
万由子♡

ああ…悦史さんの  
…ほ…ほしいです

悦史さんの  
精子あびながら  
…万由子  
イキたい…♡

……え……  
悦史さんの  
精液で……

…んひひい  
いいいい♡

…雌妻に  
なります…♡

ハッ  
ソッ  
貴方だけの  
万由子よ♡  
貴方だけ…

だから…  
くださいっ…♡

はおおん♡  
もっじろ  
しちやいや♡

ほおおん♡

愛してる  
一緒にイクよ

悦史いああ好き♡  
嬉っっっ♡

悦史のおち♡  
おちっっ♡

雌妻の万由子  
だけに♡  
万由子だけに  
ください♡

おちっっ♡

はああああ…っ  
あっ…あっ…あっ…っ

万由子…っ





んほおおおおオ…ん♡  
んほおおおおオ…ん♡

お…おおん…おおお…お♡





ねよねよ

ガッ...

...寝るか



あれいつ戻ったの？

はあ...

はあ...あ

コンビニ  
いった

いや...もっとう頂戴い♥

悦母のもっとう♥

なーんだ



おはよ...

もろり...

はあはあ  
悦史さん...

お義母さん  
お味噌汁  
美味しいです

その日からほぼ毎日  
万由子を

抱いた



悦史さんの  
好みだったら  
嬉しいのだけれど...

僕のために？

は...はい...♡



あ.....はあ

ん...んんあ♡

スー  
チャー



万由子はほんとにかわいい女だな

閉経をひかえた義母の宮は

若く瑞々しい男性器に  
えげつなく踊り狂い

よもや若返りする  
果たしてはた

だめ…ダメよ  
今日は  
危ない日なの



産んでいただけ  
ませんか

僕の子供  
万由子に  
産んで欲しい



今なんて…  
酷い男  
…娘の…前で…

母親に  
なんてことを

建前なんて  
どうでも  
いいです



あきを路頭に  
迷わせたら  
許しませんからね

万由子は妻  
ですもの…

万由子のおま○こは  
あきを産むための  
ものでもなく

悦史さんの…おち○ぼを  
啜えるための穴です

貴方に孕ませて  
いただけるなら…

妻として  
これ以上の  
幸福はありません

お義母さん……っ



あ…あたしも…う…  
産みたいわ…  
悦史さんの子ども

作りましょう  
僕たちの子供



あたし  
本気よ…

本当に産むわよ…  
貴方とだったら  
どうなってもかま  
いませんから♡



お願い…♡  
あたしに…♡

悦史さん…  
お願い万由子に…

おまじい♡



どくなつてき  
かまいません…♡

ま…万由子…♡

お…おまじい♡  
んんん…♡

んんんん…  
んんんん…♡

んんんん

んんんん



びや...びや...びや...♡

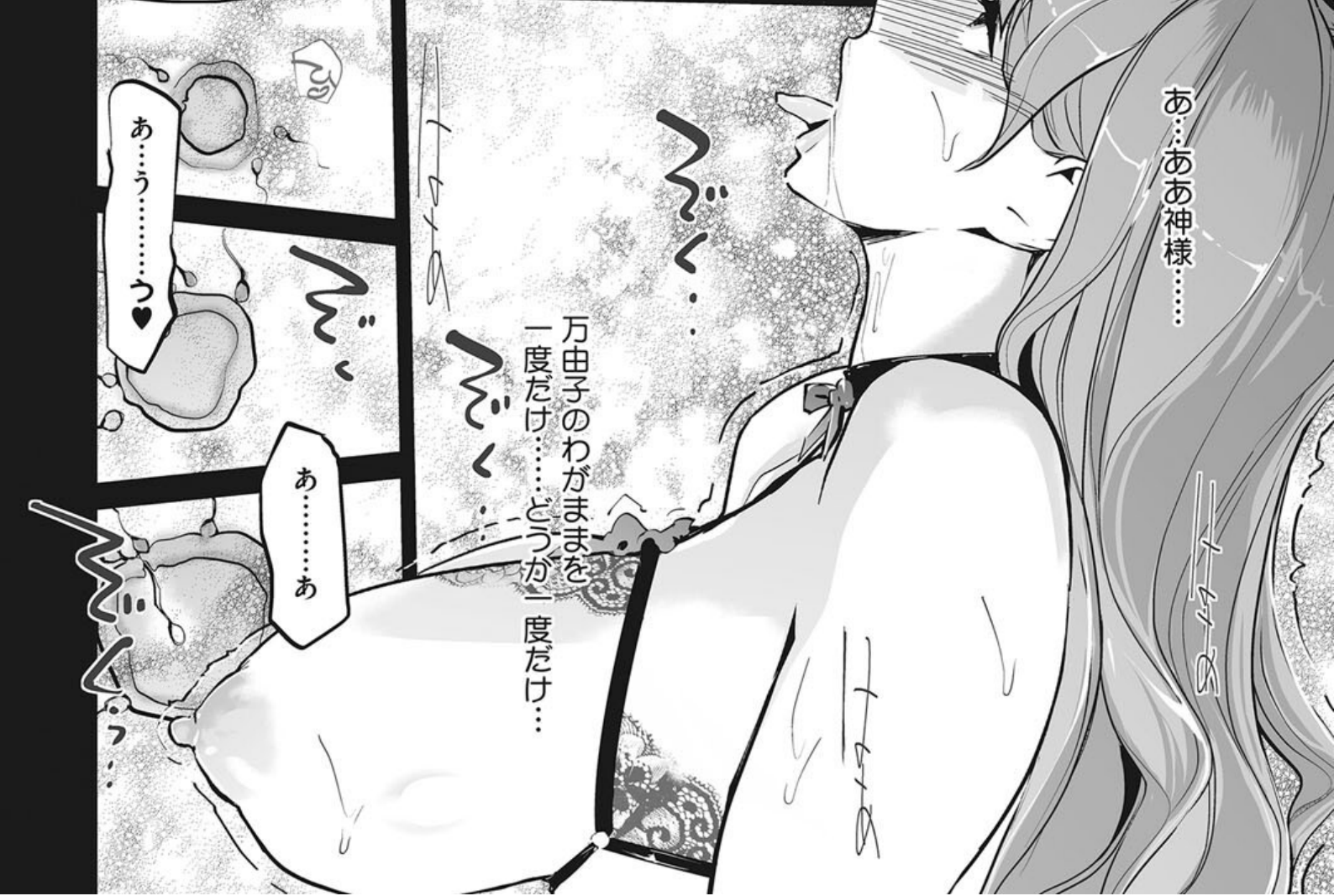
びや...びや...びや...♡

あ...ああ神様...

万由子のわがままを  
一度だけ...どうか一度だけ...

あ...う...う...♡

あ...あ





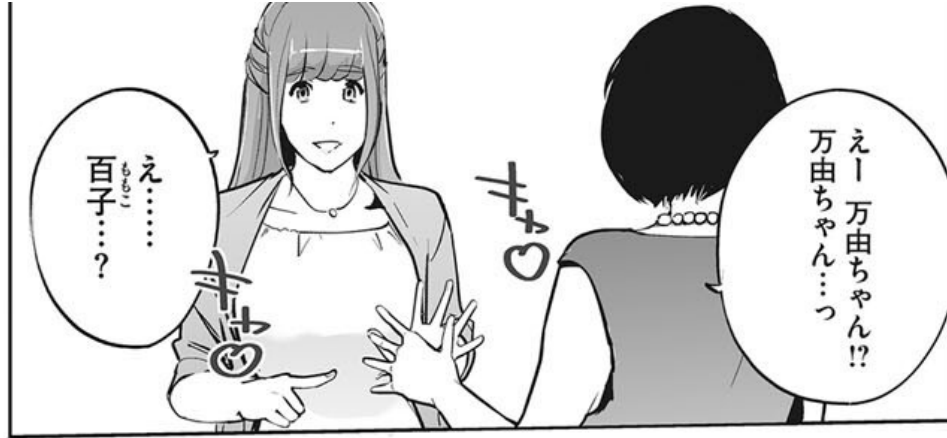
悦史い...ん...ん♡

雅ノ間

同窓会 会場

1996年度卒業生

万由子...



え……  
百子……？

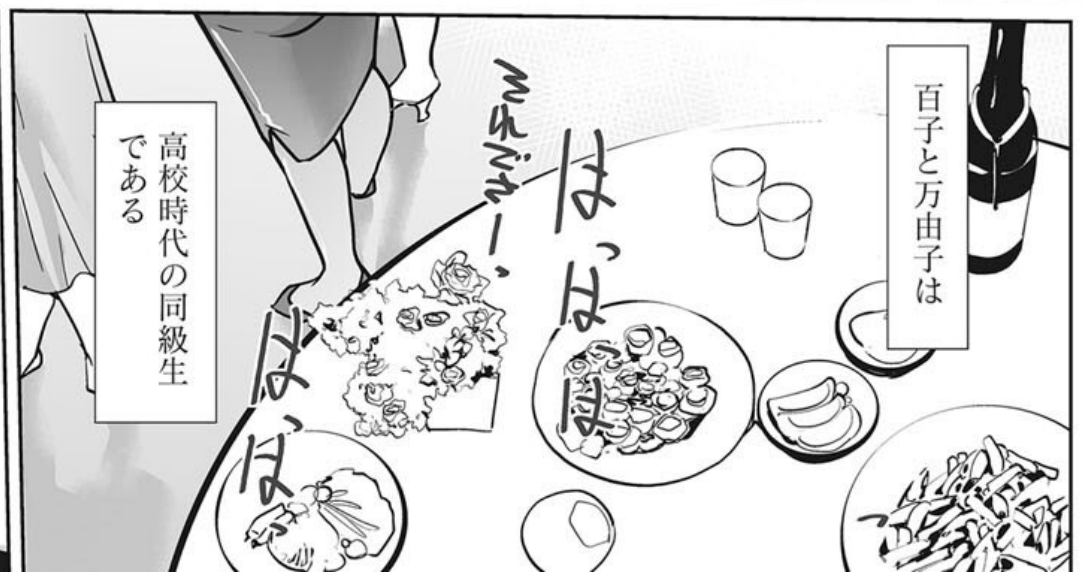
えー万由ちゃん!!  
万由ちゃん……っ



えー久しぶり  
百子かわらないわ  
懐かしいわあ

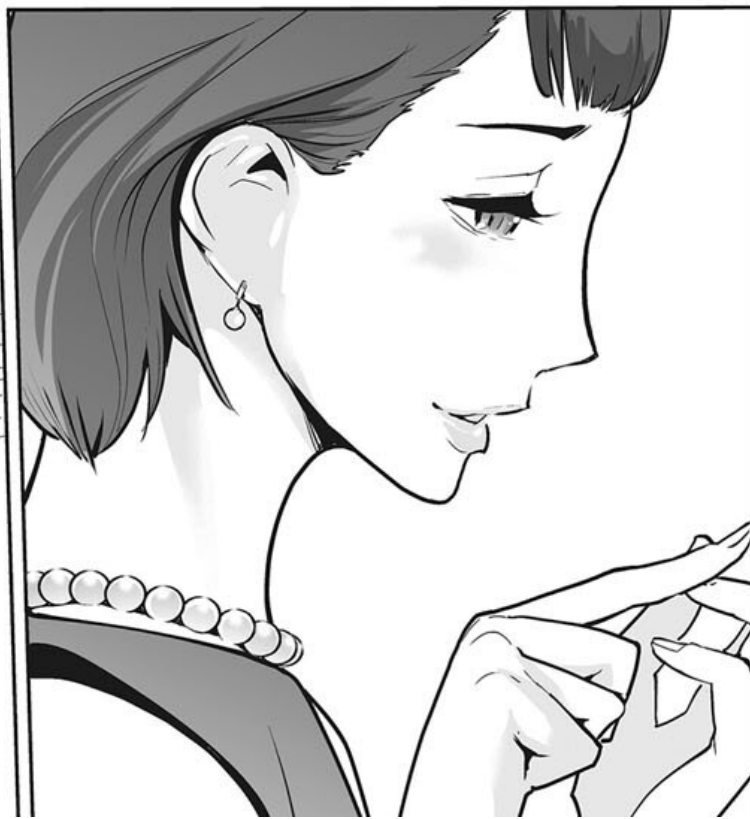
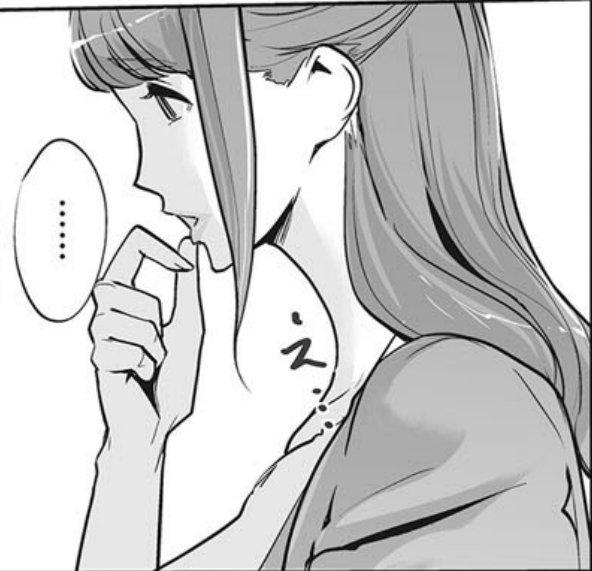
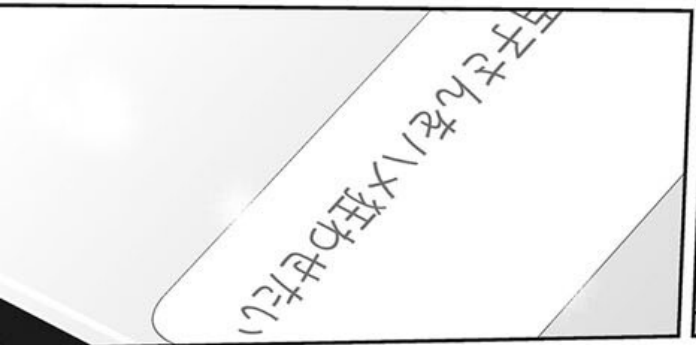
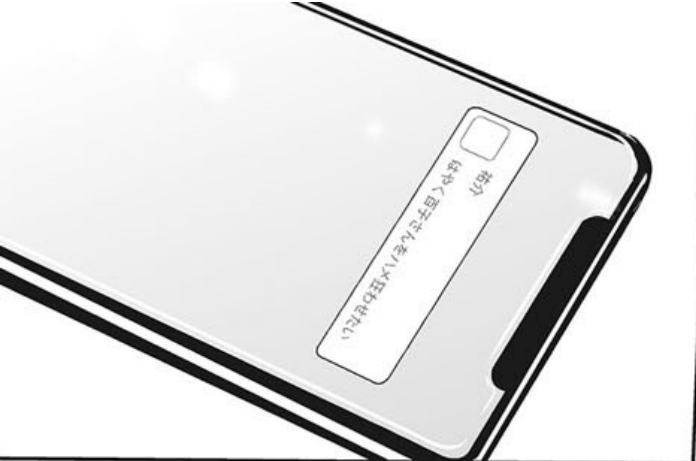


万由子……!



高校時代の同級生  
である

百子と万由子は



百子  
今度ゆっくり  
お茶しよ

連絡先教えて

あ…うん  
もちろん

あん  
ごめん……？